

○教育基本法

○東京都教育委員会教育目標

- ・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- ・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- ・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

○練馬区教育委員会教育目標

- ・人間尊重の精神と社会貢献の精神の育成
- ・豊かな個性と想像力の伸長
- ・家庭教育の支援と子供たちの健全育成の推進
- ・子供に対する一貫した成長支援
- ・自然環境の保全と文化遺産の保全・活用・継承

【本校の教育目標】

○なかよく ○かしこく ○にこにこ ○しなやか

【保護者・地域の願い】

○地域の誇りとなる子供

子供が満足する学校

- 子供たちが学ぶ楽しさを十分に味わうことができる
- 子供たちが自分の成長を実感することができる
- 子供たちが主体的に学校生活を送ることができる

保護者が安心する学校

- 自分の子供の成長を実感することができる
- 学校の教育活動がよく見え、理解・共感することができる
- 保護者と学校が協力して教育活動を推進していくことができる

地域に信頼される学校

- 地域の方々が学校を応援し、協力してくれる
- 地域のこれまでの歴史、伝統を大切にする
- 地域と学校が協力して教育活動を推進する

職員がやりがいを感じる学校

- 一人一人の職員が職責を自覚し、個々の力を十分に発揮することができる
- 職員が自分の仕事の成果を実感することができる
- 職員が自分の勤める学校に自信と誇りをもつことができる

【児童の実態】

- 明るく素直で、人に親切である。
- 学力は都の平均を上回る。
- 体力は二極化、全体的に低い。
- 言語で表現することが苦手。

【教師の願い】

- 問題意識をもち、課題選択、課題設定をし、友達と協働して問題解決に向かう姿勢を育みたい。
- 知識を活用し主体的に高め合う言語活動、話し合い活動の充実を図りたい。

【本校の目指す授業】

- 児童に、基礎・基本の学力の定着を図り、主体的に学ぶ力を育成する。
- 児童に、豊かな感性や人を思いやる心を育て、自他の生命や人権を尊重する態度を養う。
- 児童に、自らの安全と健康を守る力、心身の成長を図りながらよりよい生活を送る力を身に付けさせる。

＜本校の授業改善に向けた視点＞

指導内容・方法 の工夫	教育課程編成上 の工夫	校内における 研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との 連携の工夫	小中一貫教育の 視点
・子供の知的好奇心や学ぶ意欲を高めるため、タブレットPC等のICT機器を活用した学習活動を実施する。 ・ゲストティーチャーや校外学習等で地域人材を生かした体験的な学習の充実を図る。 ・学習形態を工夫し、基礎・基本の徹底を図る。 ・ペアやグループなどで学び合う活動を積極的に取り入れる。	・少人数指導担当教員、学力向上支援講師を積極的に活用し、授業改善を図る。 ・3～6年の算数において、習熟度別少人数指導を実施し、個に応じた指導を進める。 ・学校図書館管理員、貫井図書館との連携、地域のボランティア等を計画的に活用する。 ・体育的活動の充実を図り、運動の日常化を促して体力の向上を図る。	・「友達と協働し、問題解決に向かう児童の育成」を研究主題に、年間を通して講師を招き、特別活動の学級会について研修を深め資質向上を図る。 ・校内研究と各年次研修を連動させ、全教員の資質向上を図る。 ・ICT支援員や情報教育担当を中心にタブレット活用の校内研修やOJTを開催し、全教員の資質向上と共通理解を図る。	・各教科における評価計画および評価規準の見直しを図り、適切な評価活動を行う。 ・講師や指導員を生かし、子供一人一人が学ぶ喜びや学習の伸びが感じられるように評価を工夫する。 ・児童による授業評価および保護者、学校評議員による学校関係者評価を、授業改善に生かす。	・学校経営方針をはじめとする様々な情報を学校だより、保護者会、学校ホームページ等で発信する。 ・土曜授業公開、体育的行事、学芸的行事、保護者会等を通して、教育活動を公開するとともに、家庭や地域の参画を求める。 ・学校だより、学年だよりなどを通して、生活習慣の確立や家庭学習、体力づくり等呼びかける。	・部活動体験、出前授業など中学校との連携を図り、高学年児童に進学への希望をもたせ、学ぶ意欲を高める。 ・課題改善カリキュラムを生かし、小中一貫グループでの授業やカリキュラムの連携を進める。 ・小中一貫グループを基軸とした地域ぐるみの取組で児童の規範意識や安全への意識を高める。